

平成 3 年 3 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

平溝の馬ぼとけ峠

青梅市の面積の約 66%は山地です。山地内を流れる川の多くは、西から東の方向へ流れているため、川に沿って広がる集落と集落の間には峠があり、古くから利用されています。市内には全部で 40 ケ所の峠があり、多くは尾根線の鞍部（凹所）にあります。上長湫の旧二ツ塚峠や今井の七国峠などのように突起部に峠が位置する所もあります。

市内にある峠のうち、高度が最も高いのは成木 7 丁目から奥多摩町大丹波へぬける名坂峠で、標高は 712m です。次いで高いのは馬ぼとけ峠で、標高は 707m となっています。平溝から馬ぼとけ峠を越え、大丹波に着く旧道を歩いてみました。

J R 青梅線の軍畑駅から北へ約 15 分歩くと平溝川に着きます。橋から左（西）側の道を約 10 分進むと高源寺に着きます。高源寺前から右側の坂道は高水への参道で、馬ぼとけ峠越への道は高源寺橋を渡る広い道路です。

高源寺橋を渡ると谷幅が急に狭くなり、しばらく進むとワサビ田も作られています。そして、与津ノ沢橋の先には、天保 9 年（1838）に原島九朗右衛門氏が建てた馬頭観音が祀られています。昭和の初めまで馬は重要な陸上輸送手段で、家族同様に大切に扱われていました。生きている時には、病気にならないように、ケガをしないように、所有者は願をかけました。そして不幸にも死んだ場合には、丁重に葬ってやりました。馬頭観音はこれらの願をかけたり、成仏を祈るために道路の脇に建てられました。

馬頭観音のすぐ先には、石の室内に安置されたお地蔵様が祀られています。2 体の地蔵はいずれも高さは 40cm で凝灰質砂岩から作られています。この凝灰質砂岩は五日市町伊奈で掘り出されることから「伊奈石」と呼ばれ、伊奈石製の石仏や石碑は市内のいたるところで見られます。

お地蔵様から約 10 分進むと玉指橋^{たまさす}に着きます。馬ぼとけ峠に向うには橋の右側にある幅 30cm 前後の狭い山道を登ります。登山道は尾根道で、尾根の右（東）側一帯は樹木の伐採が行なわれています。急な山道を約 25 分登ると、高水山から岩茸石山にのびる稜線に着きます。なだらかな山道を左（西）側へさらに約 20 分進むと馬ぼとけ峠に到着します。かつてここに、馬の仏を祀った石碑が 2 つあったため、ここを馬ぼとけ峠と呼ぶようになったといわれています。しかしながら、現在は見当たらず「惣岳山 1.3 キロ 御岳駅 4.6 キロ」などと書かれた道標とベンチがあるだけです。

（文責 角田清美）